

## 高知県立図書館を、全ての県民のための図書館として十分な資料、専門職員、設備、スペースをもつ施設として整備することを求める請願署名

高知の図書館を考える県民の会は高知県立図書館の新館建設において、県立図書館としての機能を十分に果たし、これからの高知県の図書館サービスが一層発展することを願い、平成22年8月5日高知県教育長に単独整備の要望をいたしました。尾崎県知事と岡崎高知市長は8月24日の県市連絡会議で、高知市立市民図書館本館との合築方式での整備に合意したと発表しました。

しかしながら、その判断材料の一つとなった8月20日付の「高知市立追手前小学校敷地への県立図書館・市民図書館の整備について一報告書」では、蔵書能力は開館後30年程度の見込み数であることや、他県に比較してきわめて少ない雑誌・新聞の閲覧や保存のスペースへの配慮がみられないなど、概算とはいえ、床面積が不足している懸念があります。また、市町村立図書館等を支援することを重要な機能とあげているにもかかわらず、その大切な要件である駐車場が満足に確保できないことなど、根本的な部分で危惧される問題があります。

よって、私たち高知の図書館を考える県民の会は高知県立図書館が高知市立市民図書館本館と合築・一体型となることなく、全ての県民のための図書館として十分な資料、専門職員、設備、スペースをもつ、機能強化された施設として整備されることをお願いいたします。

### [項目]

1. 市町村図書館の支援センターとしての機能を強化することと、そのために必要な十分な書庫を整備して下さい。また将来の拡張も見すえた計画としてください。
2. 公共交通機関が利用し難い地域がある県下の状況も踏まえ、県民全体の図書館利用を促進するために、十分な広さの駐車場を整備して下さい。
3. 県民の幅広い調査研究のための長時間利用も想定した、広い閲覧スペースを確保して下さい。
4. 1～3を実現するために県立図書館の単独整備を検討して下さい。

この請願にご賛同いただける方は署名をお願いいたします。

いただいたご署名は一つにまとめた請願書として、高知県議会に提出します。

高知の図書館を考える県民の会 代表 大谷英人

氏名	住所